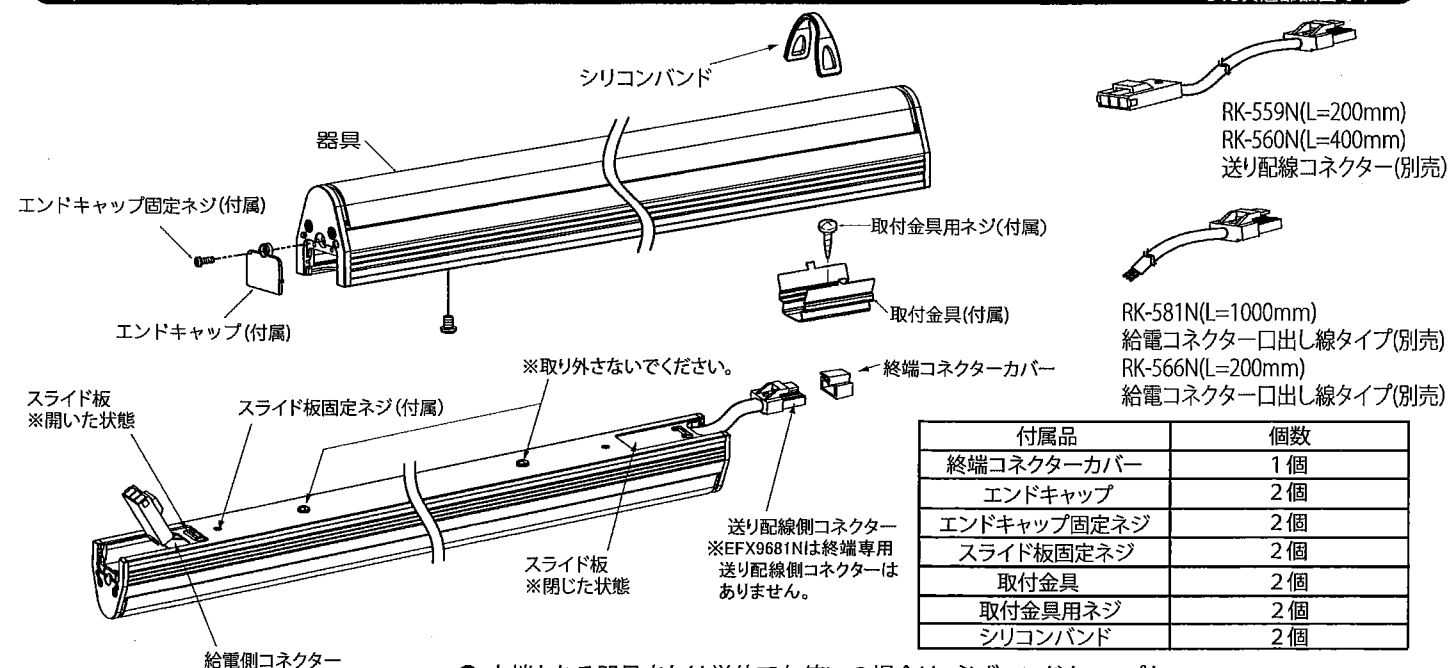


LEDZ [型番] EFX9522N, EFX9521N, EFX9520N, EFX9693N, EFX9679N,
EFX9680N, EFX9525N, EFX9524N, EFX9523N, EFX9694N, EFX9681N

◆各部の名称



- 末端となる器具または単体でお使いの場合は、必ずエンドキャップと終端コネクタカバーを取付けてください。
※ 出荷時はエンドキャップ、終端コネクタカバーは装着してありません。付属のエンドキャップ、終端コネクタカバーをご使用ください。
- エンドキャップは器具に側面からはめ込んでください。
※ 特に結線部に手が触れる恐れのある箇所で使用される場合はエンドキャップ固定ネジをご使用ください。

◆仕様

型番	色温度	長さ	周波数	定格電圧	入力電流	消費電力	連結使用可能台数	取付金具	
EFX9522N	ナチュラルホワイトタイプ (4000K)	1200mm	50Hz/60Hz	AC100V	113mA	11.3W	26台	2個	
EFX9521N	温白色タイプ (3500K)			AC200V	57mA	11.1W			52台
EFX9520N	電球色タイプ (3000K)			AC242V	48mA	11.0W			62台
EFX9693N	電球色タイプ (2700K)								
EFX9679N	調光調色タイプ (6500K-2700K)	900mm	50Hz/60Hz	AC100V	118mA	11.7W	24台		
EFX9680N	調光調色タイプ (6500K-2700K)			AC200V	60mA	11.5W	50台		
				AC242V	43mA	9.8W	69台		
EFX9525N	ナチュラルホワイトタイプ (4000K)	600mm	50Hz/60Hz	AC100V	91mA	7.8W	32台		
EFX9524N	温白色タイプ (3500K)			AC200V	42mA	7.7W	71台		
EFX9523N	電球色タイプ (3000K)			AC242V	37mA	7.8W	81台		
EFX9694N	電球色タイプ (2700K)								
EFX9681N	調光調色タイプ (6500K-2700K) ※終端専用送配線側コネクタはありません。			50Hz/60Hz	AC100V	69mA	6.8W		-
				AC200V	35mA	6.7W	-		
				AC242V	30mA	6.8W	-		

◆LED光源について

LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べパラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

◆無線調光タイプの製品について

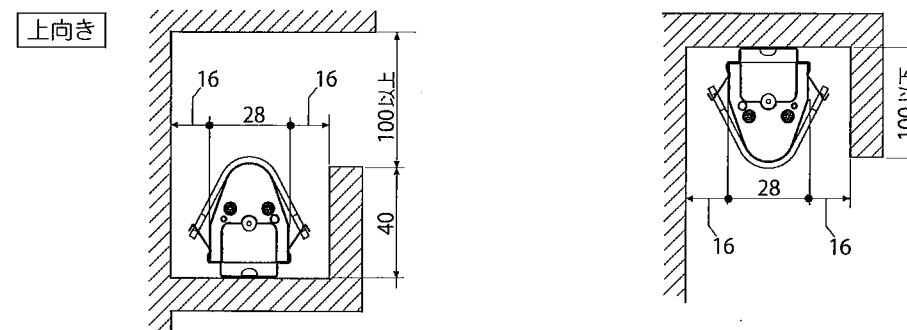
詳細に関しては Smart LEDZ Fit/Fit Plusシステム各製品の取扱説明書を参照ください。
※その他の調光制御システム(旧Smart LEDZを含む)でご使用出来ません。

◆施工に関する注意

- 配線長により電圧降下が起こりますので、設置条件によっては接続可能台数が少なくなります。
- LEDは周囲環境によっては、十分な照度確保は困難です。
- その他接続台数および配線については、別途当社までお問い合わせください。
- 器具およびケーブルは、埋込施工などをせず、器具交換が可能な施工をしてください。
- この器具の壁面縦方向での取付けは器具が自重によりずれる可能性があります。器具の落下・破損の原因となりますので、壁面縦方向での取付けはできません。
- 造作部分の材質により、通信距離が短くなる場合があります。

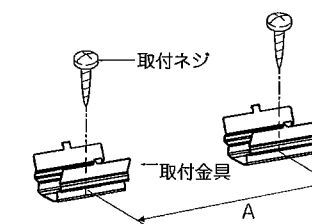
▲ 壁面に縦方向に取付けた場合、器具落下・破損の原因となります。

- 最小施工寸法(付属の取付金具使用時)



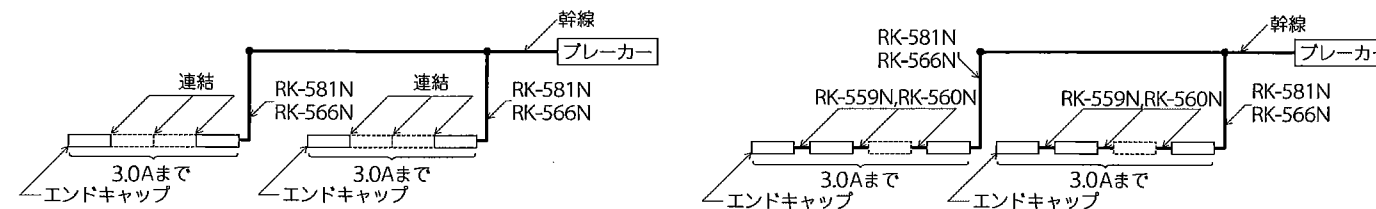
- 取付金具推奨ピッチ

LEDユニット型番	A:推奨取付ピッチ
EFX9522N, EFX9521N, EFX9520N EFX9693N, EFX9679N	450mm
EFX9680N	300mm
EFX9525N, EFX9524N, EFX9523N EFX9694N, EFX9681N	400~300mm



※連結については以下のように配線してください。

※RK-559N, RK-560N使用の場合



※器具を連結させる際は、合計の電流値が3.0A以下でご使用ください。

- ▲ 直接日光のあたる場所に取付けの場合、昼間は点灯させないでください。器具短寿命・火災の原因となります。
- ▲ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

◆取付方法

1. 安全確保のため、電源ブレーカーおよび、電源スイッチを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

2. 器具重量に耐えるよう、取付面の強度を確保してください。

⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下・破損の原因となります。

3. 取付金具を付属の取付ネジで確実に取付けてください。

※ 取付金具の間隔は、取付金具推奨ピッチをご参照ください。

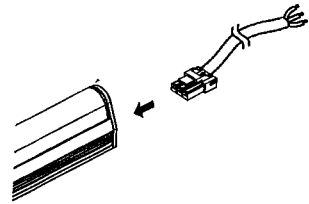
4. 給電コネクタ(別売:RK-581NまたはRK-566N)と電源線を結線してください。D種接地工事を行ってください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

5. スライド板をあけて給電側コネクタを取出してください。



6. 給電側コネクタに給電コネクタ(別売:RK-581NまたはRK-566N)を根元まで確実に差し込んでください。接続後コネクタは必ず器具内に収めてください。



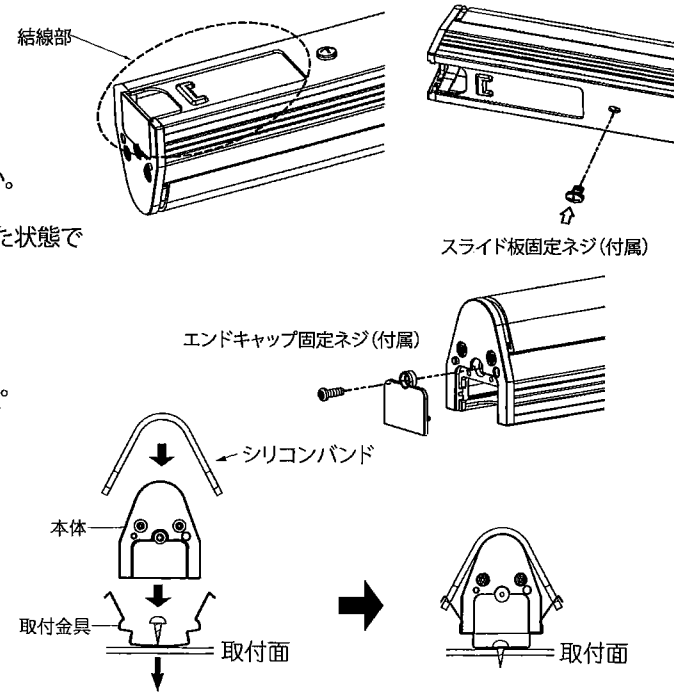
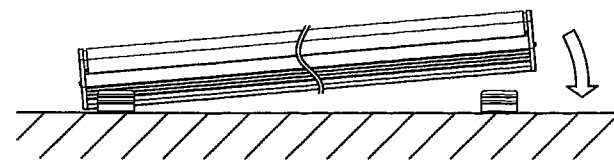
7. スライド板を閉じて器具を取付金具にはめ込んで取付けてください。

その後、落下防止用のシリコンバンドを装着してください。末端は必ず付属のエンドキャップ、終端コネクタカバーを装着した状態でご使用ください。

※ 終端コネクタカバーを取付けない場合は末端コネクタ部を絶縁処理をしてください。

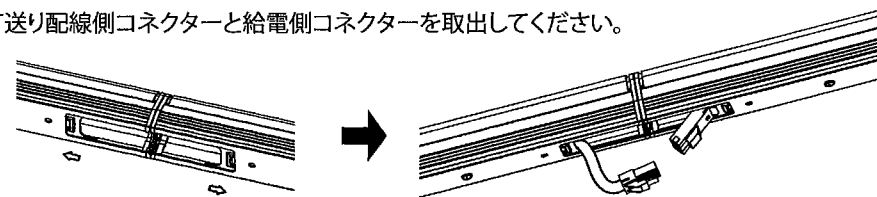
※ 特に結線部が手の届く箇所での使用に関してはスライド板とエンドキャップ固定用のネジ止めを行った状態でご使用ください。

⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下 破損の原因となります。



◆連結方法

1. スライド板をあけて送り配線側コネクタと給電側コネクタを取出してください。



2. 送り配線側コネクタと給電側コネクタを確実に接続してください。接続したコネクタは送られる側の器具内に収めてください。

※EFX9681Nは終端専用送り配線側コネクタはありません。

3. スライド板を閉じて器具を取付金具にはめ込んで取付けてください。

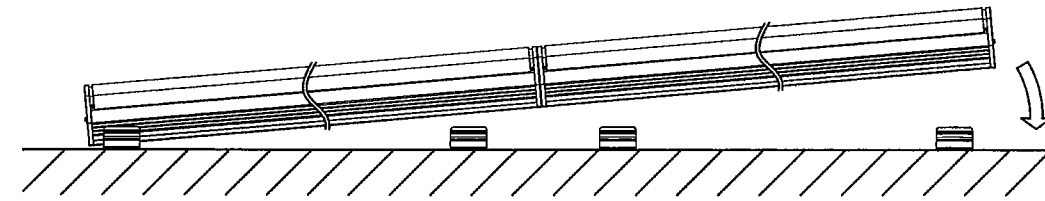
連結台数は連結使用台数をご参照ください。

その後、落下防止用のシリコンバンドを装着してください。

連結の末端は必ず付属のエンドキャップと終端コネクタカバーを装着した状態でご使用ください。

※ 終端コネクタカバーを取付けない場合は末端コネクタ部を絶縁処理をしてください。

※ 特に結線部に手の届く恐れのある箇所での使用に関してはスライド板とエンドキャップ固定用のネジ止めを行った状態でご使用ください。



⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・器具故障の原因となります。

⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下・破損の原因となります。

⚠ 末端にエンドキャップが装着されていない場合、感電の原因となります。

※ RK-559N,RK-560Nを使用しない際は、送り側器具、送られる側器具のエンドキャップの凹凸を合わせた状態で取付金具にはめ込んでください。

※ 送り配線コネクタ(別売:RK-559N,RK-560N)を使用する際は、接続後コネクタは必ず器具内に収めるようにしてください。

⚠ 安全に関するご注意

- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
* 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯 (JIS C8105-1 解説による)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(注)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

(注)「安全チェックシート」は、一般社団法人 日本照明工業会 ホームページをご参照ください。
<http://www.jlma.or.jp/index.htm>

■清掃方法について ⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

● 電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店が、最寄営業所へお問い合わせください。